

# 中央環境審議会大気・騒音振動部会自動車単体騒音専門委員会「今後の自動車排出ガス低減対策のあり方について（第十五次報告）（案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

## 1. 実施方法

- (1) 意見募集期間：令和6年5月24日(金)から令和6年6月22日(土)まで
- (2) 告知方法：電子政府ホームページ
- (3) 意見提出方法：郵送または電子メール

## 2. 意見提出数

4通	(4件)	[内訳]	業界団体	1通
			企業	0通
			個人、その他	3通

## 3. 寄せられた御意見及びそれに対する考え方

No.	報告(案)の該当箇所	御意見の概要	件数	御意見に対する考え方
1	目次 1. 2 (P 4) 3. 2 (P 1 4) 3. 3 (P 1 6)	「あたって」と「当たって」とは、どちらかに字句を統一したほうがよい。	1件	記載を修正しました。
2	3. 1. 2 (P 1 0)	タイヤ摩耗量規制に関して、日本の実態を反映した規制値とするためには、GRBPの検討スケジュールを考慮した調査・検討を進めてほしい。	1件	タイヤ摩耗量規制の必要性については、今後、GRBP（UN-ECE/WP29傘下の騒音・タイヤ分科会）における検討スケジュールも踏まえながら、必要な調査・検討を進めていくこととしています。
3	その他	化石燃料の使用を減らすため、代替燃料の使用について検討をすべき。	1件	御意見につきましては今後の検討の参考とさせていただきます。
4	その他	2050年までに自動車による排気ガスゼロを達成するよう、法整備を求める。	1件	御意見につきましては今後の検討の参考とさせていただきます。